

SISTERNA (コスメライク)シリーズ

ナチュラルという、トレンドにこたえて、世界中の化粧品に。



姫野 佐和 ひめの さわ

機能化学品事業部 機能化学品営業部
生活・食品東部担当 課長代理
03-3275-0568 sawa@dks-web.co.jp

— 入社当初から営業職だったのですか。

姫野 大学は、法学部を卒業して、入社当初は、法務関係や新事業企画などの仕事に携わっていました。2004年に「海外営業職」の社内公募があり、自分自身の持てる力を新しい分野でも試したいという、どちらかというと挑戦する気持ちでのぞみました。

化学的な素養もなく当社の周囲の方たちのように研究開発の経験もありませんから不安もありましたが、これから携わる仕事への期待や希望の方が勝りました。

— 現在は、この『SISTERNA』シリーズの営業で活躍されていますね。

姫野 『SISTERNA』シリーズは、当社が40年近くにわたって製造しているシヨ糖脂肪酸エステルで、主に欧米市場に向けて名付けたブランド名です。

シヨ糖脂肪酸エステルといえば食品添加物としておなじみかと思いますが、今日は化粧品用途（国内向ブランド名は『コスメライク』）に的を絞ってお話します。

本製品の原材料は、元々食品である天然由来の砂糖ですから、極端に言えば赤ちゃんが口にしても大丈夫で、マイルドな化粧品原料だといえます。口紅ののび向上やツヤだし、乳液、ローション、シャンプー、シェービングクリームなどの各種化粧品に多く使われるようになってきています。

化粧品は、ご存知の通りヨーロッパ発の有名ブランドが大きなシェアを有していますが、そこでは天然、ナチュラルといったトレンドが定着しつつあります。この流れをうけて、オセアニア、東南アジア、中南米なども含めた世界的な需要の拡大も見込めると考えています。

— どういったことに心がけて営業活動していますか。また、自身の強みは？

姫野 化学のバックグラウンドを持ち合わせておりませんが、技術の専門知識でもって製品をご紹介する説得力に乏しいのですが、反面、化学に対する先入観がないので、研究出身の営業マンが忘れかけているような、より一般消費者に近い感覚を持っているといえます。どんな化粧品が欲しいのか、何がアピールポイントになるのかなど、消費者側の目線で評価